

頑張ってください！

岡崎市教育委員

小出 義信 氏



教育随想

予備知識のないまま教育委員になり、「教育」に関する文章はできる限り読むよう努めていますが、かえって混乱し判断基準を持っていないのが現状です。しかし、新しい世界に触れ、様々な想い、驚き、感動があります。

学校訪問に際して渡される学校経営方針から、学校組織が変更の余地がないほどに緻密に構成されていることを知りました。また、日常の授業に加えて行われている各種の行事や委員会、研修会、研究発表会などの多さに驚きます。これでは、社会的な問題となっている医師以上に先生方は多忙で、モチベーションの維持が心配です。モチベーションの低下は、組織の完成度が高いほど、無関心、たこつば的思考に陥る恐れがあります。いわゆるゆとり教育は見直しされているようですが、教師の



平成24年7月1日

7月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
岡崎市教育委員	
小出 義信氏	
この人に聞く	2
盆栽愛好家	
森本 莊三氏	
羅針盤	2
国語科指導員	
熊谷 清一	
ふれあい	3
本宿小	
小松 知世	
特集	4
深まる都市交流～国内編～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
プール完工・プール開き	
(昭和46年)	
この本を	8



ゆとりについてはどのような配慮や対策がされているのでしょうか。明るく、活気に溢れ、前向きな先生に接することが、子供たちには一番の喜びのようです。

すべての学校経営方針が、人間教育を教育目標としています。しかし、日々の教育現場で、この目標に繋がる決まった方法論があるとは思えません。明治維新後に日本を訪れた西洋諸国の人々は、後進国と見做していた日本人の優れた人間性に感嘆しました。また、松下村塾や適塾からは優れた人材が輩出されました。こ

れはいずれも塾での師弟という、個別の人間関係から培われた内发性、人格形成によるとされています。

高度に組織化された現代の学校教育においても、先生方の本質が子供に投影されるのではないのでしょうか。社会がいかに変わろうと、教師は「聖職」であり、社会の骨格を形作っているのです。喜びを味わいながら、疲れすぎないようバランスを取りつつ、ご活躍を！

(こいで よしのぶ)

この人に聞く



盆栽と共に生きる

盆栽愛好家

森本 莊三 氏

森本さんの自宅の庭には、百鉢以上の盆栽がある。枝ぶりが見事な五葉松、郷里の広島から持ってきた色鮮やかなキリシマツツジなど、その美しさに圧倒された。

「一鉢完成させるのに、簡単なもので二、三年、盆栽展に出すようなものは、十五年ほどかかります。庭にある盆栽の中にも、百年以上昔から育てられているものが、七鉢ほどあります。」

丹精込めて育てたこれらの盆栽を、小中学校の入学式、卒業式などの式典に貸し出している。国内で最高峰の「国風盆栽展」に、育てた木が出品されたこともある。

森本さんは、幼少のころより野山に入り、植物と親しんでいた。「成人後、広島では、田舎の青年会

のリーダーとして、山でクリの接ぎ木に精を出しました。本格的に盆栽づくりを始めたのは、岡崎に来てからで、四十五歳くらいからです。季節ごとに変化する自然を、身近に感じることができると盆栽に夢中になっていきました。仕事の傍ら、藤岡や足助の森に入り、盆栽にふさわしい木を探し回りました。」

定年後は、職場や地域の盆栽同好会で指導者として尽力した。

「盆栽の手入れの仕方や木の形には決まりがあるので基本は教えますが、斬新さや独創性など、かえって素人さんから教えられることも多いです。教えるこちらが勉強になりました。」年間を通して施肥、剪定、針金掛け、水やりなどの手入れが必要で、大変手間と時間がかかる盆栽の世話を、楽しみときつぱり言う。



「盆栽が好きなので、面倒なことも楽しいです。喜びの方が多いです。脳の半分は盆栽。盆栽は宝物です。」

「盆栽と人生は似ています。盆栽を見ると、生きる力をもらうことができます。木に教えられることが多いです。例えば、岩の中に根を食い込ませて懸命に生きている木がありません。倒されても、曲がってもたくましく生きる木の姿を見て、盆栽と共に、強く生きる力がわきます。」

現在八十六歳、人生を盆栽と共に歩まれてきた森本さんの座右の銘は、女優の森光子さんの言葉「花は色人は心」だそうだ。

「植物は正直です。こちらの心が伝わりません。盆栽を育てるのも子育ても大切な心です。」

と心をこめることの重要性を説く。

「木を優しく育てることで優しい心がつくられる。一人一鉢運動がいいと思うのですよ。ドングリ、カキ、ウメ、どんな木でもかまいません。秋になったら、それぞれ鉢を持ち寄って、品評会をやるとおもしろいですよ。」

盆栽をこよなく愛する森本さんの心の中には、常に生き物に対する優しさがあふれている。ご家族と盆栽に囲まれ、「私は幸せものです」と、笑顔で話す森本さん。盆栽を見つめる温かいまなざしが大変印象的であった。

氏名 もりもと しょうぞう
生年月日 大正十五年一月三日
住 所 岡崎市北野町

羅針盤



人間的成長と

言語能力の育成

国語科指導員

熊谷 清一

「前半に、厳しくも愛のある父親の姿を描いた作者の意図は何ですか。」

中学二年生「字のない葉書」の授業での教師の発問である。この作品は、作者の視点で描かれた父親の姿を通して、人の心と心のつながり、家族の絆を描いている。本時まで、作者である「私」から見た父の姿、父に対する「私」の気持ちを、文中の表現から読み取ってきた。そして、単元の終わりを迎えたときにA先生はこう発問した。これまで「気持ち」ばかりを考えてきた子供たちにとって、作者の書き方を問うこの発問は、当然戸惑いを生む。子供たちが一斉にえっとい表情を浮かべた。そこで、A先生は、

「前半と後半の父親の姿を比べなさい。その違いは何ですか。」



英語活動の効果

本宿小

小松 知世

本校は、英語活動を中心に据え、コミュニケーションの力を身に付ける学習に取り組んでいる。六年生では、「自分の思いを英語で伝えられる子」を目指し、授業の中に友達との会話ゲームを多く取り入れている。

外国籍児童のA男は、とても恥ずかしがりで、自分の気持ちを伝えることが苦手な子だ。英語活動には楽しそうに取り組むが、会話ゲームのときには自分から友達に話し掛けることはなかった。担任の私とALT、そして、他の外国籍児童と話すだけだった。A男が孤立することなく、自分の思いをみんなに安心して話せるようなクラスにしたい。それが私の課題になった。

英語で道案内をする单元に入ったときのことだ。A男は導入で、新し

い英語の意味をきちんと理解した。また、チャンツやリピート練習などの活動を通して、道案内に必要な英語を言えるようになった。これなら、自信をもって友達と話せるかもしれないと期待した。

しかし、単なる道案内ゲームでは、うまく会話することができなかった。そこで、次の時間には、自分の家までの道案内をするというゲームを用意した。前時の復習後、本宿の地図を配り、ゲームを始めると、A男は席からは離れないものの、しきりに周りの様子を伺っていた。私はすかさずA男に声をかけた。『Where is your house?』するとA男は笑顔で、『Turn left. Go straight. Turn right and stop.』と地図を差しながら上手に説明することができた。

私は『Good job!』と褒めた。そのとき、A男の表情には満足感が表れていた。

それから、A男の動きが変わった。自分の席の近くを通りかかった友達にトントンと指で合図をして、自分の家までの道案内をしたのだ。友達との会話を心から楽しんでるA男がそこにはいた。

その後の英語活動では、何人もの子がA男に話しかけるようになり、A男が友達と関わる場面が増えてい

た。そして、A男が英語で楽しそうに友達に話しかける姿が見られた。周りの子供たちも、A男とのやりとりを楽しんでいた。お互いに相手を思いやりながら活動できる英語活動の効果を改めて感じた。

三学期の英語活動のことだ。自分の夢を語るスピーチの場面で、私は思いきってA男を指名した。以前は人前で話して注目されることを極端に嫌がっていたA男が、友達に背中を押されてクラスの前に立ち、「コックになりたい」と英語で語った。自然に大きな拍手が起こった。周りの子供たちの優しさと、A男の成長を感じる場面であった。



と発問した。それまでの読み取りが生きてくる。十人ほど手が挙がり、A先生がB子を指名した。B子の発言は素晴らしかった。

「前半に、威厳と愛情にあふれた非の打ちどころのない父の姿を描くことによって、後半の、妹に対して見せた声を上げて泣く父の姿を、より読み手に印象付けるためです。」

うなずく子、感嘆の声を上げる子。子供たちは、一様に納得した顔であった。子供たちが文学的文章の読み方を、言語能力を獲得した瞬間であった。A先生の発問により、「字のない葉書」が読める」だけでなく、「他の作品も読み、思いを深める」力を、子供たちは身に付けたことだろう。

さらに、授業は続いた。

「前半と後半では、父の心情の描き方が違います。どう違いますか。」

「後半は、会話や行動から父の気持ち分かる書き方です。だから、直接表現されているより、そのときの父の様子が想像できます。」

国語科の目的には、人間的成長と言語能力の育成がある。内容を読み取り、自分の思いをもつことを大切にしながら、作者の述べ方、作品の読み方を学ばねばならない。常にこの両方を意識しながら学習を進めるよう、教材研究に励みたい。



▶ 鞆小訪問団歓迎会（井田小）

岡崎市は現在、福山市（広島県）、石垣市（沖縄県）の二つの市と親善都市提携を結び、交流している。また、茅ヶ崎市（神奈川県）、佐久市（長野県）、関ヶ原町（岐阜県）と「ゆかりのまち」の提携をしている。そして、五年前に、金沢市（石川県）と観光交流都市の協定を結んだ。

提携までのいきさつはそれぞれ異なるものの、いずれの市や町とも、産業・教育・文化など、各種団体による幅広い交流が展開され、友好と親善を深めている。例えば、茅ヶ崎市とはスポーツ交流が盛んに行われ、サッカーやミニバスケット、少年野球などで、相互に訪問し合いながらの活動が毎年続けられている。また、関ヶ原町からは伊吹山の雪が毎年プレゼントとして届けられる。岡崎の花火大会に町民を招待したり、岡崎からも関ヶ原町に歴史探訪ツアーが企画されたりもしている。また、その他の市でも、桜まつり家康行列のような観光行事への相互参加や、特産物、観光物産品の出展、販売などを行い、交流している。

中でも、親善都市の二市では、学校単位での交流も積極的に行われ、伝統となっている。奥殿小は、石垣市の大浜小、佐久市の田口小と姉妹校となり、児童や職員、保護者が相互に訪問したり、贈り物を贈ったりといった活動が続けられている。また、井田小は、福山市の鞆小と交流を続けている。毎夏相互に訪問し、ホームステイをしながらの交流活動が続けられ、親交を深めている。

今後も、交流を通して相手の街の魅力を知り、さらには自分たちの街岡崎についても今一度見つめ直して、その特色や魅力を再認識していきたいものである。

親善都市

▲ 井田小訪問団（鞆の浦）



▲ 鞆小児童による福山琴の演奏（鞆小）

広島県福山市

岡崎市議会議員が行政視察した際、「親善都市」提携の話を持ちかけられた。両市は、市制施行日が同じなど、共通点が多く提携が議決された。〔昭和46年11月9日調印〕その後、井田小と鞆小の間に姉妹校提携が結ばれた。

ゆかりのまち

岐阜県関ヶ原町

徳川家康が関ヶ原での合戦を機に、徳川300年の太平の世を築いた。その縁で「ゆかりのまち」の提携が行われた。

〔昭和58年7月1日調印〕



▲ 奥殿小訪問団（佐久市）



▲ 少年野球の交流（岡崎市市民球場）



▲ 関ヶ原から雪のプレゼント（南公園）

神奈川県茅ヶ崎市

もともと三河の出身で家康に仕えていた大岡越前守は、二代忠政が家康の命により関東相模国（現茅ヶ崎市）に知行地を与えられた。その後、五代忠相は八代將軍吉宗の厚い信任を受け、譜代大名となり西大平（現岡崎市大平町）に陣屋を置いた。その縁から両市は「ゆかりのまち」提携をした。

〔昭和58年7月1日調印〕



▲ 関ヶ原町でのイベント

長野県佐久市

旧臼田町（平成17年4月1日、合併により佐久市）が岡崎市とともに松平乗謨公（後の大給恒）ゆかりの地であることから、旧臼田町と「ゆかりのまち」提携を交わした。その後、合併後の佐久市とも交流が継続されている。

〔昭和58年7月1日調印〕

また、提携調印の翌年から奥殿小と田口小との交流が始められ、現在も続いている。

観光交流都市



▲ 金沢百万石まつり

石川県金沢市

古くからの城下町であり、加賀前田家三代藩主・利常の正室が、家康の孫・珠姫であるなど、歴史的つながりも強いことから、「観光交流都市」提携を結んだ。

〔平成19年10月18日調印〕



▲ 大浜小訪問団 民謡と踊り（奥殿小）



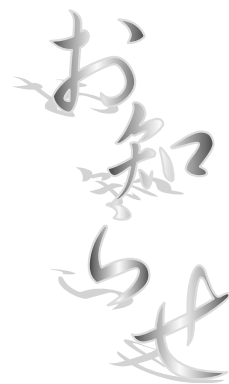
▲ 奥殿小訪問団（石垣市）



▲ 石垣島まつり 岡崎市民ツアー（石垣市）

沖縄県石垣市

戦時中、石垣市の旧大浜飛行場に駐屯していた岡崎出身の海軍将兵たちが作った「八重桜会」が、当時兵舎に使った大浜小学校に贈り物をしたことが交流のきっかけとなり、八重桜会の仲立ちで奥殿小と大浜小が姉妹校となった。その交流をきっかけに両市が「親善都市」提携をした。〔昭和44年2月19日調印〕



● 教育研究所

総合学習センターの研修棟二・三階に「教育研究所」がある。教員の研修の場として、研究室、教育図書室、視聴覚資料室などが配置されている。教育図書室には、六千冊を超える新刊教育図書が配架され、二週間を期限に五冊の本を借りることができる。

今年度は、「教育研究所だより」を発行し、図書活用を含めた広報活動を充実させている。他にも、学芸会、運動会（脚本・DVD）、各教科・領域の学習指導案も収蔵しており、閲覧することができる。

相談室には、教育アドバイザーが常駐し、学校運営や学級経営、授業等の相談活動を行っている。

休館日：日・月曜日と祝日

● 教育相談

岡崎市上地三丁目十二番地一
電話八三―七七七〇



「そよかぜ相談室」と適応指導教室「ハートピア岡崎」を合わせて開所し三年目となった。本年度、さらに充実した支援ができるように不登校担当の指導主事とハートピア専属の臨床心理士を配置した。

また、そよかぜ相談室長を指名した。

● そよかぜ相談室

子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の子供・保護者・教職員である。

主な相談内容は、①不登校に

関する相談②特別支援教育に関する相談③就学に関する相談である。電話で予約し、来所していただいている。その他、発達障がい専門家による巡回相談を実施している。

● ハートピア岡崎

通所が可能な子供に対して、学校生活への適応性を高め、学校復帰できるように指導・支援をしている。それらの方法については、臨床心理士の助言を得ながら定期的に検討する機会を持っている。また、学校の担当者と連絡を取り合い、子供の状況の変化について共通理解をし、協同して対応できるように努めている。

通所できない子供には、学校からの要請に応じて、登校支援員が家庭訪問をして相談に応じたり、登校につき添ったりするなど、個々の子供の状況に応じた支援体制を整えるように努めている。

● 相談センター住所・連絡先

岡崎市竜美北二丁目六番地一
電話七二―三四四七

● 少年自然の家だより

○すぶちネイチャークラブ
ヤマツツジの咲く自然の家森に、「こんにちは。〇〇小学校の□□です。よろしくお願ひします」と、さわやかな声が響いた。

このネイチャークラブは、本所主催の人気事業で、第一期となる。今年も、四月に配布した「少年自然の家だより」を見て、たくさんのお応募があったため、抽選となるほどであった。

五月十二日、第一回の活動を行った。まず、若い指導員のリードで、三十二人が楽しくゲームをした。最初は友達の間に入れずにいた子供たちも、だんだんと会話が弾んできた。そして、午後からは、ウッドバーニングを行い、枝を輪切りにした板でオリジナルの名札を作った。その後、大人気の落ち葉スキーや綿菓子作りを楽しんだ。帰る頃にはすっかり打ち解け、「来月もよろしくね」と挨拶をする子供が大勢いた。

子供が大勢いた。

クラブ発足にあたり、三つの「K」を大切にしてほしいと話した。一つ目は自然の中での活動は楽しいことも沢山あるが、どんなことも体を使って学ぶ「体のK」である。

二つ目のKは、学校も違う学年も違う友達の集団だから、自然の中では協力が不可欠である。「協力のK」を大切にしたい。そして、三つ目は、「環境学習のK」である。ネイチャークラブで感じ学んだことを、一人一人がそれぞれの学校に持ち帰り、環境学習につなげ、拡げていってほしい。

七月十四日は、第三回の活動で、「鮎つかみ」「カヌー・水遊び」が予定されている。きつと、夏の太陽の下で、こ須淵の川に子供たちの元気な声が響くであろう。





●表彰
 ◆フラワー・ブラボー・コンクール 春花壇（愛知県）
 松坂屋賞 上地小学校
 日本植物園協会賞 六ツ美中部小学校
 学校花壇奨励賞 岡崎小学校
 細川小学校
 形埜小学校

●第五十五回岡崎中学校総合体育大会の記録

●種目別競技

種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	南	六ツ美	福岡
	女	六ツ美	南	六ツ美北 城北
バスケットボール	男	六ツ美北	城北	甲山 矢作
	女	葵	甲山	竜南 六ツ美北
バレーボール	男	六ツ美	竜南	矢作 東海
	女	矢作	竜海	六ツ美 福岡
ソフトテニス	男	矢作北	河合	美川 矢作
	女	竜南	美川	六ツ美北
卓球	男	岩津	矢作北	六ツ美北
	女	額田	北	矢作北 六ツ美
新体操	女	南	東海	
剣道	男	矢作北	竜海	額田 南
	女	矢作北	六ツ美北	北 竜南
ハンドボール	男	竜南	美川	葵
	女	美川	六ツ美北	
軟式野球	男	城北	六ツ美北	矢作北 東海
	女	矢作	竜海	矢作北 南
柔道	男	北	矢作	矢作北 竜南
	女	北	矢作北	竜南
サッカー	男	南	甲山	葵 竜南
水泳	男	東海	矢作北	矢作
	女	竜海	岩津	矢作

●水泳競技（個人成績・1位のみ）

性	種目	氏名	校名	記録
男	50m自由形	中村 裕斗	岩津	28"17
	100m自由形	岡田 恵輔	矢作	1'00"27
	200m自由形	岩本 直也	矢作北	2'11"03
	50m背泳ぎ	磯部 太一	東海	31"03
	100m背泳ぎ	竹内 裕哉	竜海	1'11"13
	50m平泳ぎ	細川 豪太	矢作北	33"86
	100m平泳ぎ	松田 健吾	東海	1'11"99
	50mバタフライ	辻本 勇斗	矢作	29"33
	100mバタフライ	河合 諒哉	東海	1'04"96
	200m個人メドレー	中濱 亮太	城北	2'24"73
	400mメドレーリレー	磯部・松田・渡辺・河合	東海	4'25"25
	400mリレー	神谷・脇田・辻本・岡田	矢作	4'05"57
女	50m自由形	望月 ひかる	岩津	30"34
	100m自由形	杉町 侑香	北	1'03"40
	200m自由形	菅田 佳穂	矢作北	2'21"72
	50m背泳ぎ	近藤 朱利	甲山	33"64
	100m背泳ぎ	宮島 夏希	矢作	1'10"47
	50m平泳ぎ	佐々木 梨湖	岩津	★36"23
	100m平泳ぎ	余合 結	矢作北	1'18"73
	50mバタフライ	市川 花菜	竜南	33"00
	100mバタフライ	大久保 杏	竜海	1'12"49
	200m個人メドレー	松居 智咲	南	2'40"03
	400mメドレーリレー	久世・近藤・大久保・加藤	竜海	4'55"08
	400mリレー	久世・加藤・大久保・近藤	竜海	4'24"22

●陸上競技（個人成績・1位のみ）

性	種目	氏名	校名	記録
男	OP1年100m	山本 慎太	岩津	13"0
	100m	佐藤 将人	南	11"7
	200m	森 将太	北	24"8
	400m	清水 賢太	六ツ美	55"2
	800m	渡邊 寿希也	矢作	2'06"6
	OP1年1500m	長谷部 航	矢作	4'44"7
	2年1500m	山下 和希	南	4'27"8
	3000m	鈴木 貴博	東海	9'32"3
	110mH	大竹 哲司	竜南	17"0
	400mR	志賀③ 加藤③ 清水③ 大浦③	六ツ美	46"2
	低400mR	加藤② 山本① 田中① 馬場②	岩津	50"7
	走り幅跳び	森 将太	北	6m32
走り高跳び	加藤 亮汰	六ツ美	1m76	
砲丸投げ	大浦 優汰	六ツ美	11m65	
棒高跳び	細井 駿作	南	3m50	
女	OP1年100m	伊藤 万由子	甲山	14"1
	100m	野中 あおい	新香山	12"9
	200m	畔柳 朱希	甲山	27"6
	OP1年800m	宇野 佑紀	常磐	★2'30"3
	800m	兒山 莉奈	六ツ美	2'29"1
	1500m	近藤 佑香	東海	5'01"0
	100mH	杉浦 真穂	六ツ美北	16"1
	400mR	岡田③ 山神③ 北岸③ 坂田③	南	52"5
	低400mR	山本② 山本① 宮瀬① 福井②	六ツ美北	55"2
	走り幅跳び	吉田 沙耶	六ツ美	4m97
	走り高跳び	平井 木乃香	六ツ美	1m48
	砲丸投げ	河合 紗里奈	美川	10m36

OP オープン種目

●柔道競技（個人成績・1位のみ）

種目	性	階級・部門	氏名	校名
柔道	男子	軽量級	太田 宗行	矢作
		軽中量級	神谷 猛	矢作
		中量級	古波藏 幸平	矢作北
	女子	重量級	佐藤 司	矢作
		軽量級	近藤 葵	六美北
		軽中量級	野村 若那	北
		中量級	深野 莉帆	北

●弓道競技（個人成績・1位のみ）

種目	性	氏名	校名
弓道	男子	櫻井 輝海	額田
	女子	近藤 志織	幸田南部

★大会新記録

・カ
ツ
ト
竜
海
中
青
木
貴
之

プール完工・プール開き (昭和46年)

写真提供：矢作中学校

昭和四十六年七月二十六日、待ちに待ったプール完工式とプール開きが行われた。二十五m、七コースで、市内の中学校では十番目、小中合わせると三十一番目に竣工したプールである。写真は、大喜びでプールに飛び込む生徒を写したものである。当時、矢作中学校区の四つの小学校には全校にプールがあった。中学校にも新たにプールが完成し、生徒たちのうれしさもひとしおであったものと思われる。

それ以後、平成十一年三月に、学校北側の敷地に新プールが完成するまで、二十八年間にわたり、全国大会で優勝する有力選手を輩出するなど、生徒の泳力の向上に大きな役割を果たしてきた。



シンの匂は、六月から七月。シンの香りには強い抗菌・防腐効果があり、刺身のつまに添えられるのは食中毒を防ぐ昔ながらの知恵だ。また、その独特な強い香りは、食欲の落ちる暑い時期に消化酵素の分泌も促してくれる。子供には敬遠される匂いと味だが、そうめんと一緒に食べながらシンの香りを存分に楽しみたい。

シ オ ス ア

スイレンの花が校庭の池で美しく咲く頃、運動場では、運動会の練習の真ん中であつた。倒れては練習し、崩れては組み直し、何度も練習した組み立て体操。バトンをつなぎ、心をつなごうと走ったり。あの日々が心と体を強くし、最高学年として、六年生を成長させた。この夏、小学校最後の部活動の大会がやってくる。彼らの活躍を心から期待している。

贈り物が石垣市から届いた。小学生のときの話だ。「戴いたサンゴをケースに入れておくので、みなさん見てください」。先生から話があつた。サンゴの揺らめく南の海、一体どれほどきれいなんだろうと想像して、胸躍ったことを覚えている。あれから四十年。今なお交流は続き、脈々と歴史は続く。

愛情をたっぷり込めて育てられた森本さんの盆栽は、一鉢一鉢が輝いていた。「世話が楽しみ」と言う森本さんにとって、盆栽は、我が子同様ののであろう。だからこそ、たくましい木の姿に生きる力がわくのには違いない。盆栽の作り手が木から多くのことを学ぶように、教師も子供から学ぶ謙虚な姿勢を持ち続けたい。

この本を

- * 蝸ノ記 麟室 麟 ¥1,680
祥伝社
- * 食といのち 辰巳 芳子 ¥1,523
文藝春秋
- * 怪優伝 眞一 佐野 ¥1,785
〜三國連太郎・死ぬまで演じつづけること〜
講談社
- * 雑草の話 修 田中 ¥882
〜見つけ方、たのしみ方〜
中央公論新社
- * 武器としての決断思考 史 瀧本 ¥861
星海社
校舎を背景に、^{けやき}榎と^{いちよう}銀杏の木が青空に梢を伸ばす。
決断をするとき、今までの経験を振り返り、判断材料にすることが多い。しかし、今の世の中、過去のやり方だけでは通用しないこともある。そのためにも、意思決定の方法を学び、決断力を身につけることが重要である。本著は、客観的に決断する思考方法を紹介している。
二本の大樹のように、潔くありたい。
広幡小 渥美久美子